

都 退 教 協 だ よ り

No.262

'14.10.15

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪 春
 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F
 東京都立学校教職員組合内
 TEL 03-5276-1311 FAX 03-5276-1312
 E-mail ttu@tokyokyouso.org

九・一四地公三単産・地公退高齢者集会開催される

九月十四日午後一時三十分、日本教育会館において、標記の集会在、開催されました。集会是、吉沢自治退副会長、北村地公退幹事を議長団に開始され、まず主催者を代表して、永井全水道委員長、西澤地公退会長からの挨拶、そして、来賓の和田退職者連合副会長、小川民主党参議院議員、福島社民党参議院議員の挨拶があり、照屋衆議院議員、神本参議院議員のメッセージが議長の朗読で紹介されました。

この後、田中自治労総合労働局長による、概要次のような基調報告が提起されました。

「安倍内閣の集団的自衛権行使可能とした閣議決定は歴史的暴挙であり、到底容認できない。一方、政府は労働時間法制の見直し、解雇の金銭解決、外国人材活用、派遣労働者雇用期間上限の撤廃等々、現行労働法制を『右巻規制』として、これの徹底破壊を目論んでおり、何としても阻止しなければならない。

社会保障と税の一体改革は、『医療介護総合推進法』などを与党多数で強行可決したが、これに並行して閣議決定された『一〇一四骨太方針』の内容は、明らかに給付抑制方針である。消費税を引き上げて、法人税を引き下げるのは、明らかにその肩代わりと言えろ。

人事院は、八月に、若干のベアを勧告したが、同時に『給与制度の総合的見直し』と称し、給料表の平均二%引き下げ、地域手当の配分、高齢者の賃金抑制、寒冷地手当の見直しなどについて勧告した。これは地域間・職種間格差拡大と職員の士気低下につながるから、強く反対したにもかかわらず、これを強行した人事院は政府与党に迎合し、自ら第三者機関としての機能を放棄したものであり、許しがたい。さらに、持続可能な脱原発社会、恒久的な平和社会の実現に向けても力を尽くしていく考えである。私たちは、政府・与党の暴走を阻止し、国民の生活を守り抜くため、連合・退職者連合に結集し、現退一致で取り組みを進める。」

続いて、川端地公退事務局長から、「地公退報告」がありました。そして休憩の後、

「沖縄の歴史と文化から平和を考える」と題する、沖縄の音楽家・海勢頭 豊さんの「記念講演」がありました。海勢頭さんのほかに女性二人が加わり、味わい深い「歌とトーク」が披露されました。まず、疎開の途中、米軍の魚雷攻撃で撃沈されて亡くなった780人の犠牲者を悼む「あ対馬丸」の歌から始められました。摩文仁が丘に建つ「魂魄の塔」をめぐるお話、1952年4月28日を「屈辱の日」とするわけ、さらに「魏志倭人伝」の卑弥呼にまつわる沖縄の歴史から、1970年の「ゴザ騒動」、「恩納村の実弾演習阻止」の闘いなど「まつり歌」や「サトウキビ林」、「月桃の歌」の演奏まで、約1時間にわたって講演が展開されました。

集会は、「宣言」、スローガンを採択し、「団結がんばろう」で締めくくられました。(柴田 記)

2014年全国高齢者集会 報告

9月15日(月)、日比谷公会堂で全国高齢者集会が開催されました。「生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう」をスローガンに退職者連合に結集する2000名近くの仲間が参加し、高齢者の福祉・医療・年金制度の改善を訴えました。集会是、主催者の退職者連合阿部会長、連合神津事務局長、海江田民主党代表、福島社民党副代表の挨拶に続き、羽山事務局長の基調報告が行われました。

集会是、① 3.11 東日本大震災を風化させない、② 「平和なくして社会福祉なし」を基調に特定秘密保護法、集団的自衛権容認、武器輸出拡大、靖国参拝など戦争のできる国づくり反対、③ 年金・医療・介護など社会保障関係要求実現、④ 一人暮らし高齢者、とりわけ単身女性の低所得・貧困問題の解決、⑤ 退職者連合の地域・地区組織の確立と組織拡大の取り組み、⑥ 原子力エネルギーに依存しない社会の実現をめざすなどの基調報告を確認しました。

地域からは、東日本大震災被災地(岩手)、社会貢献活動(愛媛、山口)からの報告がなされました。

また、集会アピールでは、「平和を脅かし国民生活を不安・苦境に陥れる自・公政権と厳しく対峙し、誰もが生き生きと安心して暮らせる平和な社会の実現に向けて、連合をはじめ思いを同じくする勢力と力をあわせて闘い進んで行く。」と高らかに宣言して集会を終りました。

集会後は、銀座方面から鍛冶橋まで元気にデモ行進をしました。(谷口 記)



秋の交流会のご案内 — 井の頭恩賜公園 —

日 時 11月7日(金) 午前11時集合
 集合場所 JR吉祥寺南改札口(公園口) 改札口を出たところに集合
 役員が都退教協の旗を挙げてお待ちしております。

この公園は、大正2年に日本最初の郊外公園として決定され、計画的に整備された公園です。又、井の頭池は、神田上水として初めて江戸にひかれた水道の源であり、明治31年に「改良水道」ができるまで、重要な役割を果たしていました。

「井の頭池」の命名者は、3代将軍徳川家光と伝えられ、またその意味は「上水道の水源」「このうえなくうまい水を出す井戸」という二つの説があります。

園内は、池とその周辺、雑木林と自然文化園のある御殿山、そして運動施設のある西園と西園の南東にある第二公園の4区域に分かれています。

池の周囲には400本の桜があり、御殿山の大地にあるソロ、ナラ、クヌギを中心にした雑木林が四季を通じて散策、ピクニック、憩いの場として親しまれています。

秋の1日をゆっくり、のんびり過ごしてみませんか。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

散策のあと、懇親会(自費2~3千円)を持ちたいと考えています。

(秋元 記)

